

(研究助成) 資金使途変更申請書の作成要領

公益財団法人 全国銀行学術研究振興財団 御中

(研究助成) 資金使途変更申請書

助成年度	(西暦) 2023 年度
助成コード (4 桁)	2 3 9 9

記入日	(西暦) 年 月 日	助成時に付番された 4 桁の助成コードを記入 (上 2 桁は助成年度の下 2 桁、下 2 桁は助成 年度毎の整理番号)。 不明の場合は、 こちら で検索してください。
氏名		
助成時点の勤務先		
大学名		
学部等		
職名		
現在の勤務先		共同研究の場合は代表者のみ記入。
大学名		
学部等		
職名		
郵便番号		
住所		
E-mail		
電話番号		
現在の自宅		
郵便番号		
住所		
E-mail		
電話番号		
研究テーマ		助成を受けた研究テーマを記入。

1. 資金用途の変更内容

(金額単位：円)

項目	変更前(A)	変更後(B)	差額(A-B)
海外旅費	500,000	0	500,000
研究補助者人件費	300,000	300,000	0
書籍購入	100,000	① 100,000	③ 0
会議費	100,000	150,000	▲50,000
英文校正費	0	200,000	▲200,000
論文投稿費	0	② 200,000	▲200,000
消耗品費	0	50,000	▲50,000
合計	1,000,000	1,000,000	⑤ 0
助成額	1,000,000		④

①助成時に提出した資金用途明細（内訳）の項目と金額を記入します。

②助成時に予定していなかった項目を追加する場合には、変更前を「0」とします。

③変更前より増額する場合（差額がマイナス）は、先頭に「▲」を付けます。

④助成金の軽微な資金用途の変更（他の項目への流用）については、本申請は不要です。

一方、資金用途の変更（他の項目への流用）の結果、助成額全体の10%以上の支出超過（助成額が1,000,000円の場合は、▲100,000円以上）となる項目がある場合（注）には、必ず事前に本申請書を提出して、承認を受けてください。

（注）資金用途の変更（他の項目への流用）の結果、予定していた項目の支出額が助成額全体の10%以上増額となる場合、および予定していなかった項目を新設してその支出額が助成額全体の10%以上となる場合が該当します。

⑤変更前と変更後の合計が同じ（差額が「0」）になるように調整してください。

2. 資金用途を変更する理由

海外出張を予定していた国際会議〇〇〇〇がオンライン開催に変更になったため、海外旅費が支出不用となった。

一方、・・・・・・・・・・・・・・・・

研究助成金の用途は、助成を受ける研究に直接必要な経費に限ります。詳しくは、当財団のWebサイト（[募集要項のページ](#)）に掲載している「研究助成金の資金用途について」を参照してください。

特に「PC・プリンタ等」は、他の用途でも使用可能であるため、具体的な内容（品名等）と本研究における必要性を明記していただく必要があります。

資金使途変更申請書の提出方法について

1. 助成金の軽微な資金使途の変更（他の項目への流用）については、本申請書の提出は不要です。
一方、資金使途の変更（他の項目への流用）の結果、助成額全体の10%以上の支出超過（増額）となる項目がある場合には、必ず事前に本申請書を提出して、承認を受けてください。
2. 本申請書は、件名を「資金使途変更申請書（助成コード XXXX）の提出について」とし、次のアドレスに電子メールで送付してください。
なお、お問い合わせも、原則として電子メールでお願いします。
bankfund@jade.dti.ne.jp
3. 提出いただいた本申請書に不備がある場合、記入内容の問い合わせ、承認の連絡とも、電子メールで行います。

以 上